東大阪

発行所
株式会社 東大阪新聞社
第6906号
〒577-0802
東大阪市小阪本町 1-1-7
エフエスビル２Ｆ
TEL 06-6720-4601
FAX 06-6720-4603

八尾柏原支社
〒581-0013
八尾市山本町南 6-2-29
TEL 072-926-5134
FAX 072-921-6893

東大阪・八尾
柏原の地域紙

サチコ・ナ・プアラニ・フラネットワーク

18周年

記念発表会
10月16日開かれる

華やかなエンディング

田邊砂智子さん

フラの世界へ　観客魅了

快晴の10月16日、八尾市文化会館プリズムホール大ホール（八尾市光町2）でサチコ・ナ・プアラニ・フラネットワークの18周年記念発表会が行われた。

記念発表会のプログラムは、田邊砂智子さんの恩師マイケル、ジェームスのデラクルーズ兄弟によるパフォーマンスで幕を開けた。リズミカルで力強い流れるようなフラ、透き通ったデラクルーズ兄弟の歌声は満員の観客を、一瞬にしてフラの世界へ招き入れた。

舞台が整ったところでカリスマ田邊砂智子さんの登場だ。「カウラナ・カヴァイハエ」を華麗に舞い、客席の1人ひとりに柔らかい仕草で気持ちを届けてくれた。次は若草Ⅱハラウおよび日下ハラウの総勢29人の群舞による「カラレア・メドレー」、打楽器を用いたリズムが心地よくバランスのとれたステージだった。「ブルーハワイ」を10人のインストラクターが舞う、エルビスプレスリーのヒット曲であり、気持ちがないまぜになって楽しかった。

発表会は3部構成で進行され、フラネットワークからの出演フラレデイは延べ410人にのぼる。第1部の31ハラウによるプログラム終了に引き続いて、第2部がスタート。アグネスキムラバンドおよびカウラナのハワイアンバンドが第2部のイントロダクションをバックに、多くの拍手を呼んでいた。

第3部はマイケル・デラクルーズ、ジェームス・デラクルーズ兄弟の、男の色気を感じさせる巧みなフラでスタート、そして歌も超美声で観客を魅了していた。田邊砂智子さん、マイケルさんから新しいインストラクターとして認定を受けた6人のフラレデイも生き生きとフラを舞った。田邊砂智子さん、インストラクター全員、アグネスキムラバンド、カウラナがオンパレードでプログラムを終了した。ステージのエンディングに出演者全員と観客全員でハワイをたたえる歌「ハワイアロハ」を唱和して記念発表会の幕を閉じた。

発表会は12時の開演で、午後6時半終了の長丁場だったが、ほとんどの観客はフラに癒されマイケルの美声に酔い、最後まで席を立つ人は少なかった。

サチコ・ナ・プアラニ・フラネットワークのフラレデイの皆さんは、田邊砂智子さんを始めとしていつも微笑みを忘れず、皆と一緒にフラを舞える喜びを感じているように思う。（小川秀人）

お礼を述べる小山博河内新聞社社主

弱い立場の人を激励するのが地方紙

河内新聞社の創刊60周年記念祝賀会が11月4日にホテルアウィーナ大阪（大阪市天王寺区石ケ辻町19）で開かれ、読者ら約200人が集った。

河内新聞　創刊60周年

記念祝賀会　11月4日 開催される

はじめに柳本卓治参議院議員が発起人代表の挨拶を行った。楠本正行氏（誓和工具株式会社社長）が実行委員長の挨拶を、亀山功氏（株式会社日健マネジメント会長）が推進委員長の挨拶をそれぞれ行った。

引き続き、田中誠太八尾市長、角田禮子八尾市女性団体連合会会長、藤本和貴夫大阪経済法科大学学長らが来賓挨拶をそれぞれ行い、長年の功績を称えた。

それを受け、河内新聞社の小山博社主がお礼の言葉を述べた。昭和7年香川県に生まれた小山氏は、近畿大学へ進む。昭和30年卒業後、八尾市役所東側に社屋を構える東大阪新聞社に入社した。記者として活躍していたところ、河内新聞社の創業者、故東康子さんと出会う。体調を崩していた東さんは、小山氏を見込み、河内新聞社を託す。昭和53年河内新聞社入社、昭和55年編集発行人となる。以来36年間、河内のニュースを伝え続けている。

結びに、地方版の小さな記事が自閉症の子どもの心を開くきっかけとなった事例を挙げながら、「地方紙の役割は、弱い立場の人の背中を押して激励することです」と語った。

その後、沢勲大阪経済法科大学名誉教授の乾杯の音頭で和やかな宴会となった。歌ありの楽しい2時間はあっという間に過ぎた。

マツモラ産業株式会社
緊急時避難人引車製作元
〒581-0843
八尾市福万寺町南6―1―3
TEL（072）923―8810
FAX（072）923―8710

広域　ちょっと違う！ ABC XYZ

クレアモント外語センター

高尾智恵代表

〒563-0047　池田市室町7-29
☎072-751-5911（10:00～18:00、火～土）
http://www.claremont.jp

高尾智恵代表「ほしいのは、世界で生きていくチカラ」

10月9日に行われた第4回世界に羽ばたけ「夢」スピーチコンテスト（一般財団法人青少年夢応援隊主催）で特別賞「クレアモント賞」（語学レッスン無償1年間受講権利）を提供したクレアモント外語センター・高尾智恵代表を訪ねた。阪急電車宝塚線・池田駅下車。呉服神社方面に徒歩2分。鳥居をくぐればおしゃれなたたずまいの建物がクレアモント外語センターだ。

優しいまなざしのお母さん経営者

高尾智恵さんは小学1年と3年生の娘をもつ穏やかな母親であると同時に高い志を秘めた経営者でもある。設立の動機について、「国際交流を通じて日本や日本人の良きを世界に知ってもらいたい」と自らの体験を語った。その原点は高校時代のカナダでのホームステイだ。「英会話もままならず、日本のこともうまく説明できないという葛藤の日々だったが、我が子のように接してもらったことで、思いやりと共感が通じれば素晴らしい関係を築きあえることを実感した」と振り返る。

留学で身につけた異文化交流

ホームステイにより海外への関心が高まり大学では国際関係を学び、カリフォルニア州のクレアモント大学院に入学。当時はMBAコースを学ぶ日本の社会人が多く、気後れしたが国際政治経済を専攻し、発展途上国の民主化と経済成長との関係や人権問題を学んだ。

2005年に亡くなった著名な経営学者、未来学者のピーター・F・ドラッカー氏の授業は受けなかったが、よくテニスをしていた姿を見たと、楽しかった2年半を懐古。これが2004年に開校した語学センター「クレアモント」の由来である。

社会的支援には即断即決

将来の夢や目標実現に経済的支援が必要な若者のために設けられた「夢」スピーチコンテスト。協力のきっかけは西瀬まりこ業務マネジャーの報告だった。「昨年、スピーチを聞き、その感動を代表に報告し提案したところ、その場で決めていただいた」と言う。今年の「クレアモント賞」の森一斗君（17）は11月から週1回のオンライン英会話レッスンを受ける。高尾代表は「語学に関心のある若者が多く、社会貢献意識も高いので継続し、貧困家庭を支援していく」と述べた。

一方、2020年から始まる小学校3年生からの英語教育義務化に伴い自発性を育むため「アクティブ・ラーニング」を導入し、併せて英語を教える先生のための資格取得講座開設も視野に入れている。

地域活性化に講師も積極的

高尾代表は観光コンサルタントでもある。商店街の飲食店からイスラム教徒向けの食事（ハラール）など個別相談に応じ助言している。市内にあるインスタントラーメン発明記念館に出張レッスンやパンフレット制作で協力。企業の会社名の表現方法、翻訳・通訳などにも積極的に取り組む。強みは英語やフランス語、スペイン語、中国語、韓国語の講師が出身国の文化・社会制度などに対応できることだ。高尾代表は「池田市の知名度アップに貢献したい」と意欲的。

ちょっと違うレッスン

「英語deヨガ」「子連れdeヨガ」は本場ネパール出身の講師がヨガを英語で指導する。未就学の子どもも親と同室できるから安心感があり、ネイティブ英語のシャワーを浴び、健康増進と一石二鳥。通訳は高尾代表だ。

シニア層にはあの懐かしの名曲を英語で歌う「名曲クラス」がある。仕上げは隣のスナックとか。シニア向けの「脳トレ英会話」は身体を動かし、音楽を聴き、英語で会話する認知症予防コースだ。乳幼児からシニアまでイキイキ、ワクワクしながら学べる場はありがたい。

取材を終えて

いつでもだれでも好きな時間にベビーからシニアまで講座が豊富だ。アットホームの空気が漂うなか常駐ネイティブの講師との異文化理解を体感できる。

派手な広告宣伝をしないためレッスン料が他所より安い。商業主義ではなく利他の精神で家族主義的運営である。これらの源は海外生活での貴重な体験によるもので他所とはちょっと違う。（石河亮平）

キャリア教育体験学習「イキイキひょうたんやま！」

東大阪市立縄手南中学校　生徒141人が参加

東大阪市立縄手南中学校（日比野功校長）のキャリア教育体験学習「イキイキひょうたんやま！」が、10月25日と26日の2日間、瓢箪山商店街で行われた。子どもたちが将来、社会的・職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現する力をつけるための学校教育の一環として行われている。

2年生141人の生徒は各店舗に分かれて、接客など実際の仕事を体験した。センターには生徒とともに乾龍介フリーアナウンサーも座り、商店街のスピーカーからは本格的な実況中継が流れていた。

パナット・きのしたで体験する生徒

晴耕雨読

野菜高騰での「なべ」

野菜の高騰が続いている。北海道にやって来ないだろうと思い込んでいたところに台風がやって来た。8月末に上陸した10号など4つもの台風がもたらした被害は甚大で、特に農産物は深刻だ。

北海道の農業産出額は過去5年間を通じて全国ランキング1位で、野菜のシエアは全体の9・4%を占める（平成26年農林水産統計）。ニンジンやタマネギ、ジャガイモ、トウモロコシなどの畑は壊滅状態となり影響は大きい。

全国的に長雨と日照時間不足から野菜の高騰が小中校の給食にも影響が及んでいる。子どもは「カレーにニンジンが入っていない」、「野菜サラダが少なくなった」と言う。給食の予算が決まっている自治体では「入れ替えも難しく、工夫も限界」「人気の肉じゃがやカレーが一時中止」と嘆く。主婦にも厳しい。「サンマよりも大根の方が高い」「カット野菜や冷凍もので間に合わせよう」と献立に悩む。立冬も過ぎた。家族で囲む湯気の立ちあがる鍋料理の季節だ。

「鍋」の野菜はハクサイ系・キャベツ系・白ネギ系に大別できるが、葉ものは普段の2～3倍と高い。「今晩は鍋にしよう」などと気軽に所望することもできない。そこで、ない知恵を絞って、安くてヘルシーなマイ・レシピを試食。固形コンソメスープを使い、モヤシとキノコ類（エノキ、マイタケ、シメジ）などに豆腐と油揚げを入れた「もやしキノコ鍋」はうまい。ウインナーや冷凍餃子、たこ焼きも相性がいい。ジュワーとうまみが口に広がる。

もしも野菜の値が高止まりすれば、この鍋は「抗インフレ鍋」だ。トンカツ屋のキャベツのおかわりがなくなった。しばらくの辛抱だろう。この際、「窮すれば通じる」精神であれこれと工夫するのもよし。

ウエス販売
≪商品紹介≫
～色メリヤスウエス～　（1ｋｇ￥350）
～混合ウエス～　（1Kg￥150）
～タオルウエス～　（1ｋｇ￥400）
～タオル雑巾～　（1Ｋｇ￥600）
☆不用になった中古衣料やタオルから、ウエスに適した原料だけを選別加工し商品として仕上げました。障がいを持つ利用者が手作業で丁寧に裁断し、梱包をしています。地球に優しく、皆様に愛される商品を目指しています。
社会福祉法人ヤンググリーン
障害福祉さぽーとライフグリーン
〒578－0905
東大阪市川田4－4－8
ＴＥＬ：072－963－4838
ＦＡＸ：072－963－4855

根川医院
診療科　内科・小児科
住所　〒577-0807　東大阪市菱屋西6-2-28　千日前通り（産業道路沿い）
診察時間　月～土　午前9時～午前12時　結婚式場ベルクラシック東南すぐ
休診日　祝・日・火・水・木・金　午後6時～8時
TEL 0606-6781-1253
FAX 0606-6781-8406

本は著者の分身
記憶は一代、記録は末代
自分史・社史
「著者と編集者が二人三脚で本作りを」をモットーに親身になって本作りをします。
お気軽にお電話下さい。
株式会社ドニエプル出版
TEL072-926-5134

芸能人も多数来店
河内で一番の馬肉専門店
馬刺し　焼き肉　すき焼き　ハリハリ鍋
桜　家
お子さん・女性にも人気
忘年会・新年会
ご予約受付中
東大阪市長堂1－3－6　近鉄布施駅北へ徒歩1分（宮本むなし隣）
TEL：06-7651-0827

世界遺産登録　紀伊山地の霊場と参詣道
吉野大峯奥駈道・吉野山
きす屋旅館
ステーキハウス大西
日本料理・鍋
洋食
〒639―3115　奈良県吉野郡吉野山403（銅（かね）の鳥居前）
TEL 0746-32-8100　FAX 0746-32-8111　http://www.kisuya.jp

◆きす屋への道しるべ

連載 小説

感触 ―⑩―

嶋津 亮太
（八尾市在住の小説家）

「あんなことをするような子には見えませんでしたよ…はい、家の前で顔を合わせた時はあの子の方からあいさつをしてくれるような子でしたからね。良い子ですよ、本当に。真面目で。確か、K大学に行ってたんじゃなかったかしら？　はい、そうですよ確か。進学校の生徒でしたからね。M校のブレザーがとても似合っていました。

あのね、わたしにはどうしても理解できないんです。本当にあの子なんですか？　あんな残虐なことをするような子には見えないんです。人の首を…。

わたしが家を出る時にね、ブレザーを着たあの子が自転車で帰ってくるんですよ。その時に手を振りながらね、「こんにちは」って元気よく。あんな爽やかな笑顔でですよ。あの笑顔と今回の事件がどうしても結びつかないんですよ。

家庭環境ですか？　詳しくは知りません。でも問題はなかったようには思いますけどね。ご主人は役所勤めだったんじゃないかしら。大変ね、息子がこんなことになると職場に居づらくなるでしょうね。奥さんはアロマの講師かなんかだったと思いますよ。いつもお綺麗な洋服をお召してらっしゃったのが印象的で。元々は教師をしていて、結婚して退職されたとか聞きましたけどね。端から見れば絵に描いたような幸せな家庭ですよ。

教育がよくなかったのかしら？　ご両親ともお堅い職業だったから型にはめた教育を強要したんですかね。〝こうあるべき〟というのは大切ですけれど、それが行き過ぎると子どもは萎縮になりますからね。その反動でね…思いもよらない形で発散させることになるのかもしれないですね。

え？　はい、特別親しくしていたというわけではありませんが、あいさつ程度の会話はありましたよ。え？　…全然、そんな風に感じるところはありません。とても丁寧な方でした。日頃の生活に満たされているっていう感じで。奥様をうらやむ人はいても、変な目で見る人はいなかったんじゃないかしら。

はい、こういうのもなんですけれど、わたしもね、そういうおかしな行動をとりそうだなと思う家庭の人がするなら分かるんです。納得というかね。不思議でならないのが、『どうしてあんないい子が』っていうのが大きいですよ。それもね、あんなむごたらしい。

目もくりぬいてたんですか？　何のために？…普通できませんよ。普通の感覚を持ってる人なら…いや、確かにね、わたしたちの小さい時にもカエルにね、爆竹を入れて遊んでいた子がいましたよ。いや、わたしはしませんでしたけど、男子ですよ、男子。何がおもしろいんだか分かりませんが、カエルが飛び散ったのをきゃっきゃ騒いでね。でも人間にそんなことをしようなんていう子はさすがにね…つまりは人間とカエルを同じもののように考えているってことでしょう？　それは頭がおかしいですよ。わたしにはまだ信じられません」

「凄惨な事件がこの街で起きるとはね。言葉にもなりません。

…どう思いますか？　ってどうもこうもないでしょう。ただただ驚愕です。

あの河川敷でホームレスを殺害した犯人と今回の女子大生を殺害した犯人が同じ人物なんですよね？　良かったですよ。頭のおかしい犯人が1人だけで。これが同じ街に複数いたのならと考えるだけでもゾッとしますよ。

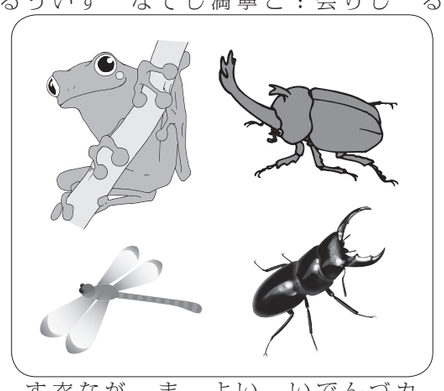
殺害の過程が恐ろしいです。まるで人体実験のように被害者の体を切り刻んで。時間をかけていたぶっている。私が思うにね、これは己の好奇心を満たすためだけの行為ですよ。そこに負の感情は存在しません。

つまりね、恨みや怒りという衝動に突き動かされたというわけではなく、興味本位で人を殺しているんです。どうですか？　容疑者の男と2人の被害者は知人関係にあったんですか？　…まだ分からない？　でもまぁ、ざっと見たところきっと知り合いでもなんでもありませんよ。知り合い相手にこんな残忍なことはできない。それか彼自身に元々そういう癖があったかですよね。ほら、体育館いっぱいに並ぶほど下着を盗むような変態がいるじゃないですか。あれと同じです。人の体を切り刻む方向へいくか、女ものの下着を集める方にいくか。

え？　…はい、知り合いである可能性は低いと思います。好奇心を満たす場合には自分とは離れた存在へ手を出すのが自然だと思うんですね。それは単純に、知り合いじゃない分だけ余計な感情を省いてスムーズに事を進めることができるから。それが知った相手だと少なからず揺らぎが生まれると思うんですよ。その微かな揺らぎが目的の中で邪魔になる。中には愛憎の感情があった方が興奮するといったような頭のおかしな奴もいるとは思いますが。ただ私としては今回の容疑者のような男の方が怖いです。

え？　…いや、何でって、あなただって興味本位で人を殺すような人間の方が怖くないですか？

復讐ならいいっていうことじゃありませんよ。そうではなくって、そういう感情の下に相手を傷つけるのならまだ理解できるような気がするんです。その人の心の内が分からないでもないってことです。しかし今回の事件はそうではない。突発的にやってしまったのではなく、順序を踏みながら相手を痛めつけているように見える。解剖実験のように知的好奇心を満たすだけの行動のようにね。



だから復讐だの、ストーカーだのの方が行動の理由づけが…あ、動機っていうんですね、その動機が理解できるだけまだマシだっていう話です。

どちらにしろ気持ちの悪い話ですよ。早く捕まってよかったですよ、はい」

「…何もいうことはありません。

どうして…どうして結衣がこんな目に遭わなければならなかったんですか…結衣が何をしたっていうんですか？　…あの子は…。

正直、殺してやりたいです。犯人の男がこの罪を償うことは一生をかけても償いきれません。

あんな酷い殺され方…私には、はじめそれが結衣の姿だとは分かりませんでした。玄関の扉を開けると物凄い臭いがして、口元を押さえながら部屋に入りました。もうその時には心配だとか失望だとかそういった感情はどこにもなく…ただただ扉を開けたからその流れのまま中に入ったというだけのことで。

それは肉の塊にしか見えませんでした。それが人間であるということさえも分かりませんでした。一つだけ心に願っていたことは、「どうか結衣とは関係がないものでありますように」ということで。私の胸を打つ鼓動は大きく、全身が脈打つようでした。それと同時に呼吸は浅くなっていって、目の前がぼんやりと…霞んできて…頭が回らないのですが、その肉の塊の脇には長い髪があって、それは不自然なほど美しくなめらかで。私はその髪を見ただけでそれが結衣のものだということが分かりました。赤い血に染まった結衣の服が、落ちていて、結衣の体だけが抜け落ちたように…。

悪魔です。あんなことをするのは悪魔の仕業です。

結衣がいなくなったことが私にはまだ信じられません。亡骸さえも結衣のもだとは分からない…そんな気持ちを、あなたは想像できますか？　目の前にあるものが娘の姿であるということが分からない、そんな不幸を味わった者の想いを、想像できますか？」

次号（12月15日付）に続く

感触

次世代に繋げる音楽の役目

最近の傾向として小学校から大学までの在学中に、音楽の基礎やブラスバンドなどで非常に素晴らしい演奏技術を習得しても、卒業と同時にほとんどが音楽と無縁状態となる。折角芽生えたのにそのまま放置して枯らしてしまう大変残念な現象である。学生への音楽の教育はこれからの若い世代を支える重要な社会的使命を持っている。将来待ち受けている人生の荒波を乗り切れる強い心を育てる、いわば「心の食育」の重要な食材の一つが音楽だからである。先人が培った心の表現の技を噛みしめて、演奏技術を高めながら豊かな感情を育てることは、自らを慰め、周囲の人々に感動を伝えて心の空洞化を防ぐ有力な手段である。情感を持てない人間は他人の苦しみが分からない。福島原発事故に関して「放射能で死んだ人は一人もいない」と言った当事者がいたが、避難中に亡くなったり、放射能からの汚染を避けて苦渋の思いで、住みなれた町や村を離れた人びと、そして避難所で寂しく孤独死した人びとの心情を全く無視した発言は許せない。無視というのは見えたものを見えない素振りをすることだが、今回の発言者は見えない以前の問題で、全く他人の心情が感知できない不幸な「心の障害者」である。自らの心にも、他人の心にも思いを伝えなければ音楽は成り立たない。体格は胃袋を満たすことで可能だが、心を豊かに成長させて丈夫なものに育てあげるためには、美味しい栄養豊富な「心の食事」が必要である。そして我々はこれからの日本を担う若い世代の中から、不幸な「心の障害者」をなくすためにこの食事を用意せねばならない。

音楽を心の食物と考えれば、その変遷は食文化のそれとよく似ている。音楽の保存としての録音、録画は食物でいえば冷蔵・冷凍であり、冷蔵庫や冷凍庫がその役目を果たしている。食材の再加熱や調理には電子レンジや電磁調理器など電子機器を利用するが、音楽の演奏にも今や電子楽器は欠かせない存在となった。様々な食材が世界中から集まってくるようになったが、いろいろの国のリズム・メロディーも多種多様の流通経路を辿って流れてやってくる。調理器具（楽器）が進化し、調理方法（演奏）も多様化するなか、各国の食材（リズム・メロディ）も採り入れて料理の種類（演奏曲のジャンル）も増えた。

この様に環境が大きく変っても先祖から伝えられた和食の会席料理・郷土料理（演歌・民謡）は私たちの心の中に沁みこんで消え去ることはない。それに日本料理の粋ともいえる懐石料理（叙情歌）の伝統も持ち合わしている。いろいろの時代の変化の波をかぶりながらも伝統を受け継ぐことは一世一代ではできない。各世代が努力しておいしい食事や楽しい音楽を若者に伝えることを重ねてこそ伝統が繋がり、民族が持つ「血の流れ」となる。

戦前・戦後のラテン音楽とその周辺⑬

ラテン音楽愛好家　緒方　馨

東大阪の古代史研究家
十帖田の古代史塾 ⑦
百人一首殺人事件 ⑤

久しぶりに十帖田がダイヤモンドのドアを開けると、宮子ママが一人でぼんやりしていた。客がみな帰り一息ついたところのようだ。私は流行っていない店が大好きだからこのシュチュエーションは気に入っている。

「あら、ペテン師の田ちゃん、久しぶりねえ」

ママが思いっきり愛想良く微笑んで迎えてくれる。ばかな男はこの一言のためにスナックまで出かけて金を払って酒を飲む。この店ではペテン師ということになっているが、これはこれで充分楽しい。それに宮子ママもかなりのペテン師だ。何と言っても女の嘘は許される。美人であればなおさらだ。スナックのママはむしろ素敵なペテン師でなければ務まらない。男はむしろ騙して欲しいのだ。

「あなたとはどこか感性が合うのよね」

などと言われてその気になり、本気かしら好きさ大好きさと歌って嬉しがっているものなのだ。

少し脱線する。

「ご主人、お仕事は何ですか」

ある居酒屋で隣に座ったどこかのママさんらしき女性にそう聞かれたことがある。

「実はペテン師なんです」

私はそう答えたのだが、それを聞いた彼女の返事が一枚上だった。

「まあ…。この店のママさんだったら騙されないかもしれないけど、私だったら騙されるかもしれないわ」

そう言ってにっこりとこちらを見詰め、私のビールを注いでくれたのだ。これがペテン師のプロと言うものだろう。口が巧いだけがペテン師ではない。まず目でつかむのがその常等手段だ。手の動きも捨てたものではない。

ダイヤモンドに話を戻そう。私がビールを飲んでいるところへ、近くの居酒屋で勤めるまりちゃんが一人でやって来た。私も多少面識がある。

「十帖さんもいたの。一緒に聞いて。ママに話を聞いてもらおう思て来たのよ」

どうやら別れた夫が一昨日亡くなったらしい。手にお通夜の挨拶状が握られていた。すでに成人している娘が知らせてくれたのだと言う。浮気な男だったらしい。しかし話は愚痴ではなかった。元夫と一緒に住んでいた女がまだ籍に入っていなかったことを知ったらしいのだが、それが嬉しかったようだ。それを少し前に夫を亡くした宮子ママに話したかったということだった。そしてまりちゃんは、元夫が好きだった「夜霧の慕情」を熱唱した。裕次郎の歌だ。それを聞いてママは亡くなった夫が好きだった「羽田発七時五十分」を歌った。何かママの目に光るものがあったと思ったのは見間違いだろうか。

男というものは結構別れた女に未練を持つようだ。たとえば大伴の例を上げれば、十年前、妻に逃げられているが、どこかにまだ未練を持ち続けている。ダイヤモンドの客ではないが、一度離婚したという男性がいる。こまめに若い女の子を追いかけ回しているという話だ。しかし明日地球が滅びるとなったらどうするという話のとき、いろいろ考えた末、元の妻のところへ行くとのたもうたのだ。追いかけている若い女の子に相手されていなかったのかもしれないが、男は結構未練がましい。そう思っていたら、先日彼は二まわり以上年下の女性と結婚したという。まったく人生いろいろだ。

では女性はどうだろう。別れた男に未練なんてないという人が結構多いようだし、私もそう思っていた。ではこの２人の会話と涙は何なのだろう。愛なのだろうか。亡くなっているからだだろうか。

「若い子好きの十帖さんには大人の愛は分からんのんと違うの。ヤンクミが好きやとか言うとったでしょ」

まりちゃんに言われてしまった。しかし私はエンクミと言ったことはあるが、ヤンクミとは言わなかった。

「ヤンクミはごくせんでしょ。私が言ったのはエンクミ、遠藤久美子ですよ。でもよく覚えていますねえ。他に好きなタイプをしいて言えば、市毛良江かなあ」

私がそう言うとママがその話を知っていた。

枚岡神社 中東弘宮司 大いに語る
日本古来の神話からすべてが見える

8回目の「お笑い神事」を準備する中東弘宮司

早いもので今年も錦秋の候となった。師走の天皇誕生日（12月23日）には恒例の「お笑い神事」が開催される。「お笑い神事」は古来より斎行されているが、中東弘宮司が枚岡神社宮司に就任したのが2009年8月であり、宮司に就任以来8回目の斎行となる。新年を迎えるにあたり注連縄を掛け替える「注連縄掛神事」に引き続いて、中東宮司の発声により氏子・参詣者がうち揃って「アッハッハー」と20分間笑い続け、新年の福を願い浮世の憂さを笑い飛ばす、すこぶる愉快な元気の出る神事だ。

年年歳歳、参詣者は増加の一途で昨年は2千人を大きく超えた。「笑い」といえばヨシモトを連想する人が多いだろう。ヨシモトの笑いは「ワッハッハー」と単発型の発声だが、お笑い神事は「アッハッハー」と口角を上げて大きく響かせる笑い方だ。

中東宮司は春日大社の神職時代に能・狂言の修練を積んだ熟練の芸能者であり、イタリア・フランス等での海外公演の実績も数多い。「お笑い神事」に引き続き本邦初の神事を斎行する。神話には八百万といわれる様々な神々が登場する。天照大御神が天の岩屋に隠れたとき、天照大御神を岩屋から誘い出すために、それらの神々が岩屋の前にはせ参じた。枚岡神社に祀られている天児屋根命が岩屋の前で祝詞を奏上し、神がかりの状態で踊り天照大御神の気を引き、芸能の祖神となった。

斎行では宮司の鍛え上げた発声で、20分間笑いの渦を終始リードする。ヨシモトの笑いは「笑売（ショーバイ）」だが、お笑い神事は心の鍛錬であり、心の癒しにつながっている。

本年は新しい試みとして、「お笑い神事」続けた故事が「お笑い神事」の起源だ。

蛇足になるが、一般的には「天岩戸」と呼称されるが、岩戸は「天の岩屋」の扉を指すので、あえて「岩屋」と表記した。

新しい神事は「天岩戸開き神事」、23日午後5時半より斎行。中東宮司の発案・プロデュースにより、神話を現世に再現し幻想的な世界をファンタスティックに斎行する。

枚岡神社・姫の会（巫女研修者）43人、および「はせくらみゆき」グループ40人超（巫女研修者）総勢80人超の巫女が出演するステージはさぞかし壮観なことだろう。

「天岩戸開き神事」のキャッチフレーズは「今、岩戸が開かれる…」。「今こそ心の岩戸が開かれる」と中東宮司は語り、神事の無事な斎行を祈念していた。

（小川秀人）

小説
河内奇譚 ―1―
お嬢さんが左足を下ろすとき

番 照男
（河内在住の作家）

八尾市役所の入口では浴衣姿のお嬢さんが年がら年中河内音頭を踊っている。もっとも血の通った人間ではなく、鈍く光る銅像だ。「河内音頭おどり之像」という名を持つ。

実は、このところこの像にまつわる都市伝説が八尾じゅうで広まっている。左足を上げて踊っているが、1日に一度下ろして、休んでいるという。

誰が見たのか、夜中にほんの一瞬休んでいるらしい。こういうものは夜中の0時と相場が決まっているが、型にはまりたがらない八尾の土地柄か、時が定まらないから始末が悪い。ある日は1時46分だったり、またある日は2時17分だったりまちまちだ。といって、0時のときもある。そんな細いか時間までが話題になっている。

八尾市役所の隣にある八尾小学校5年1組の間で話題になっていたこの都市伝説は、やがて八尾小学校じゅうに広がった。そのうち、他の小学校までこの都市伝説は伝わり、ついには山手の小学校まで届き、八尾のすべての小学校に広まった。

やがて、中学生や高校生の間でもこの都市伝説は話題に上るようになり、すぐに八尾全体に広まった。

しかしながら、不思議なことに隣の東大阪や柏原へ伝わることがなかった。八尾以外では、この都市伝説を聞くことがあっても、関心を示す人は誰一人としていないのが事実だ。

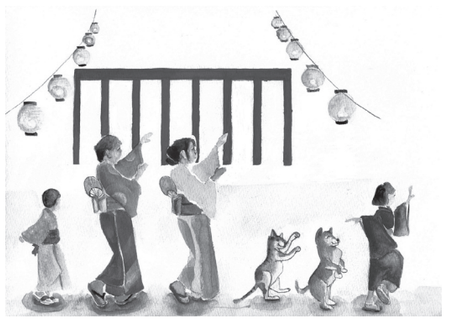
銅像の前に陣取って、夜通し銅像を見張る者も現れたが、お嬢さんが足を下ろして休む姿を見る者は誰もいない。

そこで、また新たな都市伝説が生まれることになる。このお嬢さんは生娘なので、休んでいる姿を見られるのを恥ずかしがっているという。誰からも見られていないのを確かめてから足を下ろす。誠しやかにそう言われるようになった。

そこで、銅像の前に三脚を立てて、一晩中ビデオカメラを回す者が現れた。夕方にセッティングを済ませ、自分は家に帰り、ビデオカメラだけを回す。朝方ビデオカメラを取りに行き、早速確かめた。近所の暇な連中が集まり、6畳の客間の雨戸を閉め、プロジェクターを使い壁に映像を映し出し、目を皿のようにして見た。還暦をとおに過ぎた男たちは目をこすりながら、見た。しかしながら、お嬢さんが足を下ろして休む姿を見ることはできなかった。

そこで、さらに新たな都市伝説がまた生まれた。ビデオカメラも目であることには変わりがない。恥ずかしがり屋のお嬢さんは、映像とし保存されて、場合によってはインターネットで世界中にさらされてしまうのが耐えられない。

憶測が噂を呼び、噂が伝説を形成した。そして、ある結論に落ち着いた。お嬢さんのお眼鏡に叶った青年の前でしか左足を下ろさない。それを確かめようと、今夜もまた八尾の青年がお嬢さんの前で徹夜している。



なつかしい写真 近鉄電車

地上駅時代の布施駅構内（奈良線側）
昭和44年12月撮影

奈良線側は、通過線路２本あり奈良方面からの利用客が多かったことが分かります。

大阪上本町―西大寺間、普通（このころから行先方向板は大阪上本町表示が出はじめました）。

難波―上本町間が開通以前の写真です。

〈写真提供〉読者・坂口功氏

※今後もなつかしい写真を掲載します。
（編集部）

八尾商工会議所 臨時議員総会で 池尻誠氏が新会頭に

八尾商工会議所は10月31日に臨時議員総会を開き、役員改選が行われた。

中西啓詞会頭の任期満了に伴い、新しい会頭に池尻誠副会頭が選ばれた（任期3年）。

副会頭は山口孝満氏（再任）、古橋健士氏（新任）、田中則男氏（新任）、吉川博之氏（新任）が選出された。

専務理事は、大堀裕央氏が退任し、岩本吉治氏が就任した。

就任ご挨拶申し上げます
八尾商工会議所
会頭　池尻　誠（新任）
副会頭　山口孝満（再任）
副会頭　古橋健士（新任）
副会頭　田中則男（新任）
副会頭　吉川博之（新任）
専務理事　岩本吉治（新任）
平成二十八年十一月一日

親孝行出版のすすめ

「孝行のしたい時分に親はなし」と言われます。
親が亡くなってから、もっと話を聞いておけばよかったと思う人は少なくありません。まだ親が元気なうちに話を聞き、形に残すことで親孝行ができます。また、子どもである自分の存在の貴さを改めて確かめることができ、いのちのバトンタッチを末代まで残せます。
プロのライターがインタビューし、熟練の編集者が編集し、本格的な印刷のうえ上製本（ハードカバー）に仕上げますので、安心してお任せ下さい。心を込めて、永遠に残るあなたの財産をお作りします。

《基本設定》
A５判32ページ上製本（ハードカバー）、布表紙に金（または銀）箔押し
モノクロ写真10枚挿入　肉声入りCD付き
制作部数10部　出版費用50万円（税別）

わが人生 細羽芹司 著　＋　わが人生 声 細羽芹司
上製本　肉声入りCD

株式会社ドニエプル出版　〒581-0013 八尾市八尾山本町南6-2-29
TEL 072-926-5134／FAX 072-921-6893

寄稿

10Sのすすめ

NPO法人グラウドワーク八尾
大阪KES環境機構（O-KES）事務局　徳山　吉令

これからの企業が目指す 5S（プラス）＝10Sとは

近年、2S、3S、5S活動をしている企業が増えています。

それらは一般的に、順番に整理、整頓、清掃、清潔、習慣化であり、ローマ字の最初の文字Sを並べたに過ぎない。他人に勧められ実施し成果を得た企業、さほど成果を得られずなおざりになっている企業、無関心な企業、いろいろである。

そもそも、整理、整頓がいかに重要かを理解しなければ、それらの活動に成果を求めることは難しい。

そこで、机上で分かる簡単な方法がある。まず、企業の代表や責任者の立場に立って企業の目指すところを一つ書いてみる。売り上げ向上、利益向上等、何でも構わない。それに直接必要な素材（エレメント）を考えるだけ書き出していく。それを○で囲み目指すところと線でつなぐ。人材、商品、付加価値、等々。

次にそのエレメントを確保するに必要なエレメントを同様に書き出し線でつなぎ○で囲む。その作業を考えるだけすれば重複するエレメントが増えてくる。多く○で囲まれたものが重要なエレメントとなる。たぶん、教育、人材、資金、整理、整頓に多くの丸が集中するのである。あらゆる職種の企業が目指す目標、目指すものを書いても、なぜか同じような結果となる。すなわちそれらが企業を運営する中で一番重要なものであることが分かる。

教育、人材については後で述べるが、資金はその企業が持つ個別要因であり論外である。今すぐに取り組めるのが、整理、整頓となる。整理とは捨てることであり、整頓とは使いやすく並べ替えることである。これは材料、工作機械、指示系統、人材、行程、規律まであらゆる全てに及ぶ。いつか使うだろうと置いた在庫が　どれ程他の作業の妨げになり、維持管理に多大のリスクが伴っているか即分かる。使う頻度の高い物が手元にあり、定位置にあり探す時間がなくなれば、ロボットと同じ作業効果を生み出す。それらを可能にするには日々の清掃が欠かせないのも理解できるだろう。誰もが利用できる清潔も伴い、それを維持する習慣化が不可欠となる。これで、整理、整頓、清掃、清潔、習慣化の5Sの重要性が理解できる。

さて、5Sはもはや企業はできて当たり前の行為である。なぜなら、今、どのスーパーに行っても、売れないものは並んでいないし、タイムリーに商品が並び、取りやすくなっているし、床はピカピカ、トイレも清潔に保たれている。それがいつでも維持されている。

40年前は大声でただ売れば良かった量販店が、この変遷である。ついていけなかった商店街や、暗い公設市場は縮小されて、今は見かけない。では、あなたの企業ではどうだろうか。創業からどれほど変化しただろうか。

5Sは顧客のためにするのでなく、自社のためのものである。自社がこれから、存続できるかは5Sができているかで決まるといっても過言ではない。この5Sは徹底的にしてこそ価値が出る。いかなる妥協も許してはいけない。実現するノウハウとして徹底したマネジメントが不可欠であることはいうまでもない。特に第3者機関を導入したP（計画）D（運用）C（検証）A（行動）サイクルのマネジメントをおすすめしたい。そのPDCAどのエレメントが中途半端な計画Pであったり、検証Cであれば、それなりのマネジメントとなる。だから徹底したマネジメントが必要なのである。ISO認証やKES認証が妥当であろうと思う。第3者認証を伴うことで緊張感が発生し的確なものとなり成果が大きくなる。それは企業の存続に必要不可欠なものであり5Sだけしていれば安泰であるわけでもない。

企業は効率の追求であり、無駄の排除は欠かせない。ここで言う節約は無駄の排除だ。節約は小さな効果しか出ないが、多くの人が取り組むことにより大きな力となる。例えばお茶碗に残った1粒のご飯、日本1億人がセイブすれば2万食分の節約となる。

人件費の高い日本においては人件費の削減は企業の生命線である。忙しい、果たしてそうだろうか。人件費を節約するには各個人が、企業の安全の確保は不可欠であり、自社だけの利益を追求するならば、自社が全世界を網羅できるわけでもなく、持続可能な循環型社会の発展が破綻することが分かる。企業が個人の持ち物でなく社会の一部にならねばならない。利害関係者だけのものでなく、社会と繋がった企業を目指さねばならないということです。ならば、社会的貢献は必要不可欠になる。

Satisfaction（満足度）

顧客満足度のみならず、人間の本質的な行為はすべてその人間の満足度にある。元来満足度によって価値が決められたのであるが近年、相場、市場、需要、情報等によって決定されている。特に貨幣は国家間の信用で成り立っているだけで紙きれに過ぎない。労働に至っても家族のために働いたという団塊世代の企業戦士は年老いて、職場から離れ自分の満足のために働いていたことに気づく。仕事にのめり込むのも、賭け事も、エコ活動も、ボランティア、すべての行為が自己満足であるということだ。満足度が高ければ無償の労働もありうる。やりがいとも言える。企業は労働者に与え、企業自体も求める。自己の物欲を満たす満足を追求すれば果てしなき物になるだろう。自己の精神的な満足を求めれば満たされる満足となるのだ。金銭的価値ばかり追求するより働いて喜び喜ばれ、達成感があり、感謝される様な人材、企業になりたい。難民は支援を求めているのではない、満足できる職場を求めているのである。すべての満足度の追求こそがこれからの社会、人類が目指す最終目標なのだ。

以上がこれから企業に求められる5Sプラス5S、10Sである。

Urity（安心安全）

近年、安心、安全は企業にとって切っても切れないキーワードである。社員の安全はもとよりステークスホルダー（利害関係者）の安心安全を確保しなければならない。例えば、情報漏洩やハッカー攻撃対策、災難におけるBCP（ビジネス継続計画）、人材欠員による代行員の教育等、無駄のない安心安全を担保しなければならない。個人情報はもとより、企業の安全の確保も常に変遷され、昔の一特許商品に頼る商売では永続は期待できなきれに過ぎない。労働に至っても家族のために働いたという団塊世代の企業戦士は年老いて、職場から離れ自分の満足のために働いていたことに気づく。仕事にのめり込むのも、賭け事も、エコ活動も、

Social response（社会的責任、社会的貢献）

ISO26000に示される社会的貢献はこれからの企業の在り方の指標である。持続可能な循環型社会の発

5Sはできて当たり前、これからは新たな5Sが要求される。それは次なる5Sである。

Speed Up（迅速）

当たり前のことではあるが、スピードアップは企業にとって重要な事案である。決断、取り組み、作業、教育、納期等、スピードが要求されるものが多くある。陸上選手がなぜ早いのだろうか。常に全力で取り組んでいるから記録は更新されるのだ。作業を早めるには5Sができていてなおかつ、いろいろな検証が必要である。近年の中国が躍進するのは同じ商品を作るのに商品化されるまでの時間が日本の十分の一と言われている。よい事案は、確かなマネジメントで即行動するのが良策かと。最速の効率化である。

Save（節約）

Safety、Secの時間行動表の作成が欠かせない。自分の時間を再考するのである。各社員も会社に依存する人生でなく、自分の豊かな人生を追求すべきである。労働時間を減らし同じ生産をすれば生産効率の向上である。節電だけがセイブでない。

Soc-ial response（社会的責任、社会的貢献）

ISO26000に示される社会的貢献はこれからの企業の在り方の指標である。持続可能な循環型社会の発賭け事も、エコ活動も、

田中八尾市長とデュエット「きづなみち」

道越裕海さんCDリリース

9月28日リリース

田中誠太市長をスペシャルゲストに迎え、歌手の道越裕海（ゆう）さんが、CD「きづなみち」をcozee recordsより９月28日にリリースした。

これについて田中市長は「『きづなみち』は、歌手道越裕海と私田中誠太とのデュエットで、親元を旅立とうとしている娘に対する父親の思い、これまで温かく見守ってくれた父親への娘の言葉では言い表すことのできない胸の内、父娘の『きずな』を切々と歌い上げています」と話す。

また、一緒に収録されている「ジャポネーゼ」は、「きづなみち」と曲想が正反対のラテンのリズムで、道越裕海さんの歌声と融合し、こころを楽しくしてくれる。

今回は、作曲は松田純一氏、作詞は上田起士氏のコンビによる作品となっている。

道越裕海さんは、21歳のときに「関西歌謡大賞」に初出場し、「奨励賞」を受賞。2005年に23歳でＣＤデビューした。

「きづなみち」の定価は1,300円（税込み）。

問い合わせは田中誠太事務所（☎072−993−7715）へ。

おしどり夫婦が作る 本格的な蕎麦

笑顔のおしどり夫婦、西田安宏さん・英子さん

八尾市役所近くに、本格的な蕎麦を食べることができる店がある。おしどり夫婦、西田安宏さん（38）と英子さん（39）の店「手打ち蕎麦　にし田」だ。

西田さんはもともとサラリーマンをしていたが、自分で何かしたいと考え、脱サラ。蕎麦に魅せられ、修業に入る。大阪で2年、東京で3年。学生時代に野球で培った根性で職人として一人前になり、平成22年に地元八尾で店を持った。

一から十までこだわってつくられる蕎麦は評判を呼び、遠くから食べに来る人も少なくない。

手打ち蕎麦　にし田

こだわり

手打ち蕎麦　にし田
住所：八尾市本町５−１−11
電話：072−994−2688
営業時間：11時〜14時30分、17時30分〜21時
定休日：毎週水曜日、第３火曜日
専用駐車場あり

笑う税理士 7

税理士　上西　知

消費税の簡易課税は簡単ではない①

税理士受験をしている頃、消費税は簡単だと思っていた。所得税と比べると条文が少ないし、計算も早くできるので簡単だと感じていたのだ。

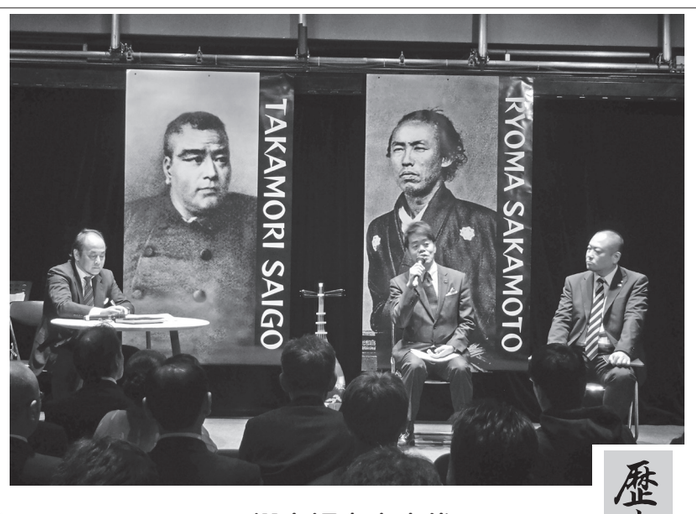
消費税は、商売人が売上代金と一緒にもらう消費税から、仕入代金・経費などと一緒に支払っている消費税を引いた金額を納めるようになっている。つまりは預かった消費税から、負担した消費税を引いた分を納めるので、商売人は損も得もないのだ。損をするのは、最後に商品を買った人（消費者）である。損をしたというより消費する人が負担したと言う方が正しいだろう。

消費税が導入されると事務の負担が増えるのは間違いない。現場の混乱を避けるために簡単に計算できる方法を中小零細企業には用意している。一つが「簡易課税制度」だ。この制度を選択すると、売上きえ分かれば消費税が計算できるというものだ。この制度がなければ、「売上と一緒にもらった消費税」と「仕入・経費と一緒に支払った消費税」がいくらなのか計算しないといけない。消費税がかからないとされる取り引きもあるので、領収書1枚ずつ、取引ごとにデータを整理しないといけない。これは大変な作業だ！　売上さえ分かれば計算できる簡易課税があってよかったと言いたいところだが、困ったこともあるのだ。

簡易課税を選択するには、その会社の決算期間（個人事業なら暦年）が始まる前に選ぶようになっている。個人事業者が簡易課税を選ぼうとすると平成28年中に届出書を税務署に提出しても、平成29年分からしか簡易課税にできないのだ。なぜ、後だしではダメなのだろう。

（つづく）

歴史の舞台裏語る



▶左からコーディネーターを務める島津義秀氏、西郷隆夫氏、坂本匡弘氏

広域

西郷隆盛ひ孫　西郷隆夫氏 VS 郷士坂本家十代　坂本匡弘氏

薩長同盟締結150年を記念して、「薩摩琵琶独演会　島津義秀の世界」が11月2日にトリイホール（大阪市中央区千日前1）で開かれた。

昼の部は薩摩琵琶独演会、夜の部はパネルディスカッションとして、西郷隆盛ひ孫西郷隆夫氏と郷士坂本家十代坂本匡弘氏が登壇し、歴史の裏舞台などを語り合った。

夜の部には約50人の西郷ファン、龍馬ファンらが参加し、身の乗り出して話を聞いていた。その後、会場近くの居酒屋で懇親会が開かれ、夜遅くまで歴史談議に花が咲いた。

詩の窓

ザイニチの分裂から

丁　章（東大阪市在住の詩人）

列車と平島
ザイニチの分裂
日本と朝鮮の
分裂状態

北と南
ザイニチと分裂
共和国と韓国の
分断状態

ぶんれつぶんだんぶんれつぶん
だん

断裂　裂断　断絶　絶望

列島か半島かと
引き裂かれる
その絶望の脳みそは
頭蓋骨の笑み割れにより

生れる出ずる
新たなる希望

北か南かと
断ち切られる
その絶望の受精卵は
見慣れぬ執刀医たちの
これまでにない切開手腕により
血まみれた胞衣から救い出される
新たなる希望

どちらかなのではなく
どちらかなのかのその問いから
抜け出したところの何かへ

どちらかだけでは足りない
どちらもだけでもまだ足りない
その次のところの何かへ

パイプイス人引車 26,500円（税別）

災害時対応の「人引（じんびき）車（しゃ）」
大好評につき受注後約20日で納品します

日常は室内で使用、緊急時は避難用に使用

室内外兼用人引車 77,500円（税別）

一般社団法人災害避難研究所
マツモラ産業株式会社　共同開発

監　修　（一社）災害避難研究所
企画開発　大興産業株式会社
製　造　マツモラ産業株式会社
ＴＥＬ　072-925-3450

HIGASHIOSAKA
大阪の元気！ものづくり企業

八尾柏原版
八尾柏原支社
八尾市山本町南６－２－29
TEL 072－926－5134
FAX 072－921－6893

「松の木小唄」の替え歌を披露

第64回女性フェスティバル2016 10月27日開かれる

バザールや芸能発表 盛大に

第64回女性フェスティバル2016が10月27日に八尾市文化会館プリズムホール小ホール（八尾市光町２）で盛大に開かれた。主催は八尾市女性連合会（角田禮子会長）、後援は八尾市・八尾市教育委員会。

10時から始まり、小ホール入口で助け合いバザールやくらし学習館講座展示などが行われた。

13時からは式典が開かれ、市民憲章の唱和の後、角田禮子会長の挨拶、来賓祝辞などと続いた。

芸能発表の部では、地域女性会会長替え歌発表を皮切りに、コント、ダンス、コーラス、川柳紹介、３B体操、三味線、民謡など次々に披露された。

各地区女性会 芸能発表の部

地区女性会会長替え歌発表

～替え歌コーラス～　『松の木小唄』

1．家　庭（用和・西山本・竹渕）
楽しく子どもと　輪になって
第3日曜　家庭の日
早寝　早起き　朝ごはん
健康家族を　つくりましょう

2．高齢者（山本・久宝寺・安中）
やさしい心を　広げましょう
介護や声かけ　おてつだい
みんなそっと　手をかして
絆を広げる　八尾の街

3．人　権（東山本・大正北）
子そだてぎゃくたい　なくしましょう
あらゆる差別は　おことわり
世界人類　みんな兄弟
愛のことばを　かけましょう

4．ボランティア（曙川・刑部）
元気で長生き　ボランティア
和食と運動で　社会貢献
笑う門には　福がくる
愛の献血　助け合い

5．リサイクル（桂・大正・高美）
地球の環境　守りましょう
タバコのポイすて　火の用心
楽しい　エコ生活
ゴミの減量　守ってね

6．地域安全（長池・永畑・美園）
地域の安全　すすめましょう
交通安全　守ってね
となり近所に　声をかけて
防災意識を　たかめましょう

7．悪質商法（南高安・南山本）
やめよう　苦情のなきねいり
きっぱりはっきり　ことわろう
ひとりひとりが　勇気だして
悪質商法　おことわり

8．生涯学習（全会長）
生涯学習　楽しいな
身近なことから　だれでもが
平和で　仲良く
女性団体連合会

がん患者さんの看病をしている人のサポート協会 開催

ワークショップを交えながら講演する酒井たえこさん（八尾市文化会館プリズムホールで）

がんと生活とお金の話

がん患者さんの看病をしている人のサポート協会が講演「がんと生活とお金の話」を10月21日と22日に開催した。21日は八尾市文化会館プリズムホール第2会議室（八尾市光町2）、22日は命泉堂2階（八尾市北本町1）で行われた。

両日とも3部構成で、①看病の幸せの見つけ方（講師：酒井たえこさん）、②がんと生活と保険の話（講師：齊藤美樹さん）、③時のマヤ暦・自分らしい看病ができる（講師：森善子さん）。

がん患者と家族が直面する暮らしとお金の具体的な話を聞くことができたと、参加者は異口同音にじみじみと話していた。

がん患者さんの看病をしている人のサポート協会への問い合わせ・相談は、☎090－6667－6821へ。

アロマの香り

食育、子育てから認知症予防の相談まで

熟年夫婦の相談に乗る西田伸恵さん

アロマと健康のお店
thanks to Aroma 代表
西田　伸恵さん

ここに来ると、穏やかな気持ちになれる。そんな居場所が八尾にある。八尾市総合体育館ウイングの南隣にあるアロマと健康のお店「thanks to Aroma」だ。季節に応じたアロマの香りに部屋が満たされている。今の時期は台湾ヒノキ。自然の中で深呼吸しているようで心地いい。風邪予防にもなるのも嬉しい。

代表の西田伸恵さん（45）は、天使のようなオーラに包まれている女性だ。一緒にいると、知らず知らずのうちに心の結ぼれが解けていく。そんな力を持っている。

西田さんは生まれも育ちも八尾。子どもの頃からの夢であった保育士になり、約20年にわたり幼児教育に打ち込む。その間、結婚し3人の子宝にも恵まれ、仕事と育児に大忙し。パワフルな西田さんはしっかりとこなし、子どもに手がかからないようになると、さらに自宅で食育の教室を始めた。子育てをするなかで、食べ物と体の関係を詳しく調べるようになり、友だちに伝えたいという気持ちからスタート。

体と心のバランスを整えるにはアロマテラピーがよいと知り、すぐに学び習得した。まさに即実行の人だ。

教室は口コミで広がり、自宅に入りきれないほどになった。

友だちだけでなく、誰もが気楽に来れる場所を作りたいという思いを形にし、昨年6月にこの店がオープンすることになった。山本高校の先輩である美馬功之助氏（株式会社MIMA社長）が協力してくれ、リホームが特急で行われた。

オープンしてすぐは若い女性の来店が多かったが、今では熟年夫婦も珍しくない。子育てから認知症予防まで相談内容は幅広い。

今年7月には、親しい人に誘われてタイへ行った。そこで、カルチャーショックを受けた。タイの人たちは、日本人と違って心が縛られていない。日本よりも経済的には貧しいが、心は満たされている。人間は幸せになるために生まれてくるのだということがストンと落ちた。胸のつかえがとれ、帰国。この喜びを周りに人に知ってもらいたいと、早速ツアーを企画している。

「多くの人に支えられて、ここまでこれました。これからは恩返しをしたいと思っています」と西田さんは少女のような瞳で語っていた。

認定証
明日の有名
に認定します
株式会社 東大阪新聞社

アロマと健康のお店
thanks to Aroma
八尾市青山町５－８－１
☎ 072－944－8989
営業時間
月・木 10 時～ 15 時
水・土 10 時～ 17 時
定休日　火・金・日・祝

西田さんは健康子育て支援団体 thanks to child 代表という肩書も持っている。この団体が主催する八尾市子育て世代支援事業助成金事業「自分開拓！　しあわせな人生を歩める大人になろう」が 11 月 19 日と 20 日に八尾市文化会館プリズムホール会議室２（八尾市光町２）である。両日とも 18 時 30 分～ 20 時 30 分、参加費 500 円（お茶、お菓子代）、対象は中学生以上。問い合わせ、申し込みは☎ 090－4492－9600 へ。

八尾市立成法中学校
職業に関心持って
講師招いて職業講話

桑田令子さん　西麻弥さん　勝山千男さん　永吉航太さん

10月28日、八尾市立成法中学校（横川一敏校長）の体育館では専門分野で働く市民を迎え、職業講話が開かれた。

八尾市立市民病院で相談員として働く西麻弥さん（44）、ダンススタジオを構えダンスのインストラクターでもある桑田令子さん（55）、日本旅行で働く永吉航太さん（25）、薬剤師の勝山千男さん（60）の4人が中学2年生約200人の前で話した。

講演者は、現在の職業に就いた経緯から、仕事の内容とその魅力をそれぞれ語った。講話中には学生たちの頷く姿も数多く見られた。

相談員の西さんは入院する患者さんの心のケアに努め、その人らしく過ごせる方法を患者さんと共に考える。

ダンスインストラクターの桑田さんは、生徒に技術を教える。ものを作ったり売ったりする仕事ではないだけに肝心なのは人との関わり合いだと話す。相手によって伝え方や答えは異なる。

旅行会社の永吉さんはツアー先での思わぬトラブルに遭遇した経験からその時の対処法を紹介した。

薬剤師の勝山さんは患者の命を預かっていることの責任について話した。

講演者が中学生に語りかける仕事の大切さ。それは四者四様で、それぞれの職業によってその着眼点は違う。

しかし、共通するところは中学生へ贈る言葉に表われた。今の時間を大切に、何かに打ち込むこと。それが職業に繋がらなくとも、その経験が人生において重要な役割を果たすということ。そして思い思いの仕事に就くことができればいいと締めくくった。

八尾市立成法中学校では年に一度、生徒へ向けた職業講話を開いている。中学生が職業と関わる時間を持つことができる機会としては有意義なものだ。

（嶋津亮太）

来年は15周年
街かどデイハウス田んぼ 第４回作品展

作品を前に 15 年の道のりを振り返る長野康子代表

街かどデイハウス田んぼ（長野康子代表、八尾市南木の本2）の第4回作品展が、11月5日と6日の2日間、同会場で開かれた。

マクメラ手芸、生け花、習字、絵手紙、押し絵、ちぎり絵、パッチワークなどの作品が所せましに展示された。次々に来場者があり、会場は賑わった。

居場所作りに取り組んできた田んぼは、来年3月で15周年を迎える。ここがあるから元気でいられるという声もよく聞く。ますます存在意義が大きくなるだろう。

連載小説
ウクライナを歩く ―― 67
小野元裕

ドニプロペトロフスク大学で講義

腹ごしらえができたので、ドニプロペトロフスク大学へ向かう。ビクトルさんの運転は滑らかで、心地いい。イタリアンで満たされた腹は脳に睡眠の信号を送るようだ。うとうとしていたが、いつの間にかドニプロペトロフスク大学に着いていた。時計を見ると、1時間が過ぎていた。

ぼんやりした頭で建物に入り、教室へ。白髪で長身のタラス教授が笑顔で迎えてくれる。

「遠方のところ、よくいらして下さいました。心よりお礼申し上げます。久方ぶりの再会を嬉しく思います」

ハグして握手。再会を喜びあった。

「日本語を学ぶ学生が先生をお待ちしています。主に4年生ですが、他の学年も混ざっています」

教室では30人ほどの学生が笑顔で迎えてくれた。9割方女子学生だ。

日本の文学事情について話をして欲しいというリクエストなので、早速質問から始めた。

「どんな本を読んでいますか」

栗毛で鼻筋の通った女子学生が手を挙げる。

「今、私は『源氏物語』を読んでいます。分かりにくいところがあるので、教えていただけませんか」

そう言って、古い上製本を開いて差し出した。

見て、驚いた。活字になっているものの、原文だ。学生のときに習った古文の知識でしどろもどろ答えたが、納得してもらえたか心許ない。

次に、ノッポの男子学生が手を挙げた。

「私は村上春樹とよしもとばななを読んでいます」

想定していた答えに胸をなでおろした。

村上春樹とよしもとばななの作品の特徴を解説すると、男子学生は満足した表情で、「大変参考になりました。誠にありがとうございます」と深く頭を下げた。

八尾市議会議員
大星なるみと行くバスツアー
近江八幡の町並みと水郷めぐりを楽しむ旅

竜王「道の駅」で迎春のお買い物も！

■とき　12 月 11 日（日）
朝８時八尾出発（雨天決行）
■会費　大人 9,500 円（中学生以上）
＊昼食代・車内での飲み物・舟代が全て含まれます。申し込み・問い合わせ　大星なるみ市議（☎072－970－5539）へ。

★申し込み締切日は11月25日（金）。定員になり次第、締め切ります。
★会費は当日お支払い下さい。
★八尾への到着は18時30分頃の予定です。

大阪フィルハーモニー交響楽団八尾演奏会
マエストロ・井上道義によるプレトーク開催!!
2016(平成 28)年 12 月 3日(土)
15：00 開演(14：15 開場)
☆出 演☆
指　揮：井上道義（大阪フィル首席指揮者）
独　奏：三浦文彰（NHK 大河ドラマ「真田丸」メインテーマ・ソロヴァイオリニスト）
管弦楽：大阪フィルハーモニー交響楽団
☆プログラム☆
ベートーヴェン：序曲「コリオラン」
サン＝サーンス：ヴァイオリン協奏曲 第３番
ベートーヴェン：交響曲 第７番
☆チケット（全席指定・税込）☆
SS 席　一般 6,000 円　完売しました　　S 席　一般 4,500 円／割引 3,600 円
A 席　一般 3,000 円　割引 2,400 円　B 席　一般 2,000 円
☆当日は各 500 円増、S 席割引・A 席割引は 25 歳以下、65 歳以上、障がいのある方とその介添の方（１名様まで）が対象。
【善者を応援！】
フレッシュシート＋1,000 円＜大学生以上、25 歳以下＞　フレッシュシート 500 円　＜小、中、高校生＞
☆当日増なし、A 席　部
【後半（交響曲第７番）のみ聴ける！】
ハーフチケット　S 席　3,000 円／ A 席　2,000 円
☆開演後一休憩終了時まで発売・休憩まで入場不可・他券種との振替不可
※B 席、S 席・A 席割引、フレッシュシート、フレッシュシート＋、ハーフチケットは、プリズムホールのみ取扱。
※各種割引チケットをご購入の際にはそれぞれを確認できる証明書（学生証・健康保険証など）をご提示ください。
※SS 席・B 席は友の会割引を含め割引価格なし。
※就学前のお子さまのご入場はご遠慮ください。

PRISM HALL 八尾市文化会館
チケットのお求めお問い合わせ
プリズムホール チケットカウンター ☎ 072-924-9999
プリズムホールウェブサイトチケット　http://prismhall.jp/

元気になれ！
へム鉄ゼリー
１粒にほうれん草30株分、プルーン300粒分の鉄分補給！
黒粒ヘム鉄ゼリーは、ヘム鉄と、瞳に優しいアントシアニン色素、ビフィズス菌の栄養になる（善玉菌を増殖させる）オリゴ糖、そして、スギナ・ヨモギなどをバランスよく含有したゼリーです。
430ｇ（50粒）
￥4,104（税込）
（有）ライヴグリーン
TEL 072-923-5517

楽しい仕事が見つかります！
障がい者専用求人　未経験大歓迎！
月給モデル　90,527 円
（4.5 時間／日、１ヶ月 23 日で皆勤手当含）
①裁　断
生地の地の目を整える作業により、製品化後の変化や縮み等を最小限に抑えます。
１着１着、サイズ・デザイン・動き等を考慮し裁断します。
②縫　製
一切、直線や平面のない人体に平面の記事を添わせるには、アイロンワークと立体を生み出す縫製が重要です。この技術こそが長年の修練の賜物であり、我々が継承したいものなのです。
③仕上げ
この時点までは、出来上がった服は言うなれば化粧前。最後の仕上げプレスによって服は命を吹き込まれ、人に寄り添うパートナーとなります。

NPO 法人 テイラーズ・ギルド
電話　072-943-1647（担当／森川）
八尾市久宝寺 4-4-30

第５回世界に羽ばたけ『夢』スピーチコンテスト
支援金額：120万円
【本選開催日時】平成 29 年10月（日にち未定）
14 時～ 17 時
本選開催場所：大阪商業大学ユニバーシティホール蒼天
住所：大阪府東大阪市御厨栄町 4-1-10
主催：一般財団法人青少年夢応援隊
協賛：株式会社サンクレスト
後援：大阪府、東大阪市
公式サイト：http://yumeouentai.com

【開催趣旨】
将来の夢や目標があるが、経済的支援を必要とする若者が自身の「夢」をテーマにスピーチを行い、受賞者を選定、支援金権利を授与いたします。
【応募資格】
大阪在住または在学・在勤の 16 歳以上 25 歳までの青少年（1992 年４月２日～ 2002 年４月１日生まれの方）

【出場者一次選定】
作文を基にスピーチコンテスト本選出場者 10 名を選考いたします。
①公式サイトより『出場申込書』をダウンロードし、必要事項を記入
②「夢」というテーマで作文を書いていただきます。
また、受賞した際の支援金の使途も記載ください。
※原稿用紙（400 字詰め）にて３枚まで
※手書き、パソコン等問わない
③応募方法：「出場申込書」と「原稿」を併せてメール又は郵便でお送りください。
※「出場申込書」と「原稿」はＨＰよりダウンロードしてください。
※メールを送る際の件名は「スピーチコンテスト応募」としてください。
④送り先：郵送の場合　宛先：大阪府東大阪市南上小阪 12-42
一般財団法人青少年夢応援隊　スピーチコンテスト企画係宛
メールの場合　info@yumeouentai.com
問い合わせ☎06-6725-0511
⑤原稿締切：平成 29 年８月 31 日（木）必着

東大阪の企業　株式会社サンクレストが応援しています